

## 第4学年 道徳学習指導案

平成22年10月12日(火) 第5校時  
在籍児童数 男子22名 女子18名 計40名

- 1 主題名 みんなで決めた決まりを守り、気持ちよく生活しよう
- 2 資料名 「クラスのきまり」 (出典 埼玉県道徳教育指導資料「みんななかよし」)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、中学年の内容項目4- (1) 「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ」ことをねらいとしている。

この内容項目「公德心」は、低学年の内容項目4- (1) 「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う」から始まり、高学年の内容項目4- (1) 「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切に守り進んで義務を果たす」、中学校の内容項目4- (1) 「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める」4- (2) 「公德心および社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める」へと発展していく。さらに、中学年の内容項目1- (4) 「過ちは素直に改め、正直に明るく元気よく生活する」、4- (4) 「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる」とも関連させて考えさせたいところである。

この時期の児童は、自分の気の合う仲間と集まって遊んだり、行動したりすることが多くなっていく。その中で、ルールやきまりをつくり、自分たちでうまく生活していくためにそのきまりを大切にしようとする傾向がある。しかし、時にはきまりやルールを守れなかったり、自分の都合のいいようにしてしまったりと、「自分」だけのための言動をとってしまうこともあるだろう。また、きまりを守れなかったことに対して言い訳をしてしまったり、素直に謝れなかったりということもある。昨今の社会情勢を見ても、子どもだけでなく、大人の世界でもきまりを守ることができず、トラブルへと発展してしまうことが後を絶たない。そこで、約束やきまりを守ることの重要性に改めて気づかせ、ただ「きまりを守ることが大切である」というだけでなく、「なぜきまりを守らなくてはいけないのか」ということも考えさせていきたい。きまりや約束、ルールは、社会でみんなが気持ちよく生活していくために必要なものであり、社会生活を円滑にするためのものであるということに気づかせたい。また、その中では各自が多少の我慢をする必要があるということにも気づかせ、お互いが譲り合いの心を持ち、よりよい生活ができるような心と態度を育てていきたい。さらに、関連項目に関連づけ、自らの過ちを素直に改め、仲間とともによりよい学級をつくっていくという態度も培っていきたい。

#### (2) 児童の実態について

本学級の児童はまだ幼く、子どもらしい部分が多くみられる児童が多い。休み時間になると、友だちとドッジボールや鬼ごっこなどで楽しんでいる姿がよくみられる。また、少しずつ気の合う友だちとのグループでの行動が目立ち始め、その中で自分たちが過ごしやすいように互いに気を遣ったり、そのグループの中でのルールのようなものができはじめている。しかし、時々そのルールを自分の都合のいいように変えてしまったり、守らなかったりすることでトラブルになっていることもある。「自分が」という思いがまだ強く、なかなか周りのことまで考えが及ばず、譲り合うことができない児童もみられる。そこで、きまりやルールは自分たちがよりよく生活していくために必要なものであるという意識をもたせ、「みんなが」気持ちよく過ごしていけるように、きまりやルールを守ろうという気持ちをはぐくみたい。

児童に行った意識調査の結果は以下の通りであった。

- 1 きまりやルールを守らなかった経験はありますか？  
はい・・・33人　いいえ・・・7人
- 2 きまりやルールを守ってよかったという経験はありますか？  
はい・・・27人　いいえ・・・13人
- 3 あなたはきまりやルールを守ろうとしていますか？  
はい・・・36人　いいえ・・・4人
- 4 きまりやルールは何のためにあると思いますか？

- ・大人になったときに困るから
- ・みんなに迷惑をかけないため
- ・みんなの生活をよくするため
- ・けがや事故がないように
- ・みんなと楽しく過ごすため
- ・お母さんに怒られないように

1については、普段の生活の中で分かっているにもかかわらずという経験が多かった。よくないと思っけていても、つい自分の楽しさを優先させてしまったという児童がほとんどだった。

2については、きまりを守ってよかった＝怒られなくてよかったとなっている児童がかなり目立った。みんなが楽しく生活するためというよりも、自分が怒られるのが嫌だから守ってよかったと感じており、守ることによってよい気持ちになったと答えた児童は少なかったが、中には「きまりを守って友だちともっと仲良くなった」と答えた児童もいた。

3については、きまりやルールは「守らなくてはいけないもの」という意識が強いことが伺えた。守らないと自分も周りも困ってしまうし、一度守らないとそれから先も守らなくなってしまうと心配している児童が多かった。また、ルールを守らないと楽しく遊べないという意見もあった。

4については、きまりやルールの意義を児童なりによく考えていることが伺える結果となった。自分自身のことだけではなく、周りのことを意識してきまりやルールについてとらえていると考えられる。

調査の結果、子ども達は「きまりやルールは大切で、守らなくてはいけない」ということを意識していても、自分の立場や欲求を優先させてしまうがために守れない経験をもっている児童が多いということが分かった。日常生活の中でも、「自分」を優先させてしまい、相手にはきまりやルールを守ることを求めても、自分は守れないということも、児童にとってはよくあることのように思われる。

以上のような実態から、本資料を通して改めて「きまりを守ること」の意義を考えさせるとともに、自分の生活の中での態度を見直させていきたい。分かっているにもかかわらず主人公の気持ちに共感させながらも、それではみんなが気持ちよく生活できないということ、十分に内省させていきたい。そして、「自分」を優先させてしまう弱さを克服し、「みんな」のためにきまりやルールを守ろうという意識や態度を育てていきたい。

### (3) 資料について

主人公のひろきは、ドッジボールが大好きな少年である。休み時間に友だちの洋平たちとドッジボールを楽しんでいた。しかし、そこへ級友のさち子が来て、「学級会で決めたでしょ」とボールを返すように求めてくる。友達洋平が「そんなルールはおかしい」と反論するのを見たひろきは、自分も同調して言い争いに加わる。しかし、その後さち子に責められた洋平達はボールを地面に投げつけて行ってしまう。ボールを拾うために足を止めたひろきに向かい、さち子は「何のためにきまりをつくったの」と涙を浮かべた。家に帰ると、ひろきの母親がきまりを守らない人がいることに困っていた。「みんなが生活しやすいためにきまりがある」という母の言葉と、さち子の言葉が耳から離れず、眠れずに悩むひろき。自分自身に自分の態度やきまりの意味を問い、次の日にさち子に謝る。そして、きまりの意味を確かめ合うことを決心する。

主人公のひろきが、ドッジボールが大好きであり、クラスで決めたボールの使い方をついつい守らなかった場面では、よくないことだとは分かっているにもかかわらずしたいというひろきの気持ちに気づかせ、共感させたい。次に、母やさち子の言葉を

聞き自分の態度やきまりの意味について思い悩む場面では、自分の行動への後悔や、母の言葉からきまりの意味について考えていること、その気持ちと同時にドッジボールを楽しみたい気持ちやクラスのボールの使い方について改めて考え、眠れないほど悩んでいることに気づかせ、味わわせたい。そして、最後に自分の過ちを認め、「きまりを守る」と言ったひろきの姿から、きまりを守ることの大切さ、きまりを守ることの意義について深く感じ取らせたい。

#### 4 研修主題とのかかわりと他の教育活動等との関連

##### 研修主題

「生きる力」をはぐくむ小中一貫教育の推進

～人とのかかわりを大切にし、共によりよく行きようとする子どもの育成～

##### (1) 研修主題とのかかわり

〈小中一貫教育の視点から〉

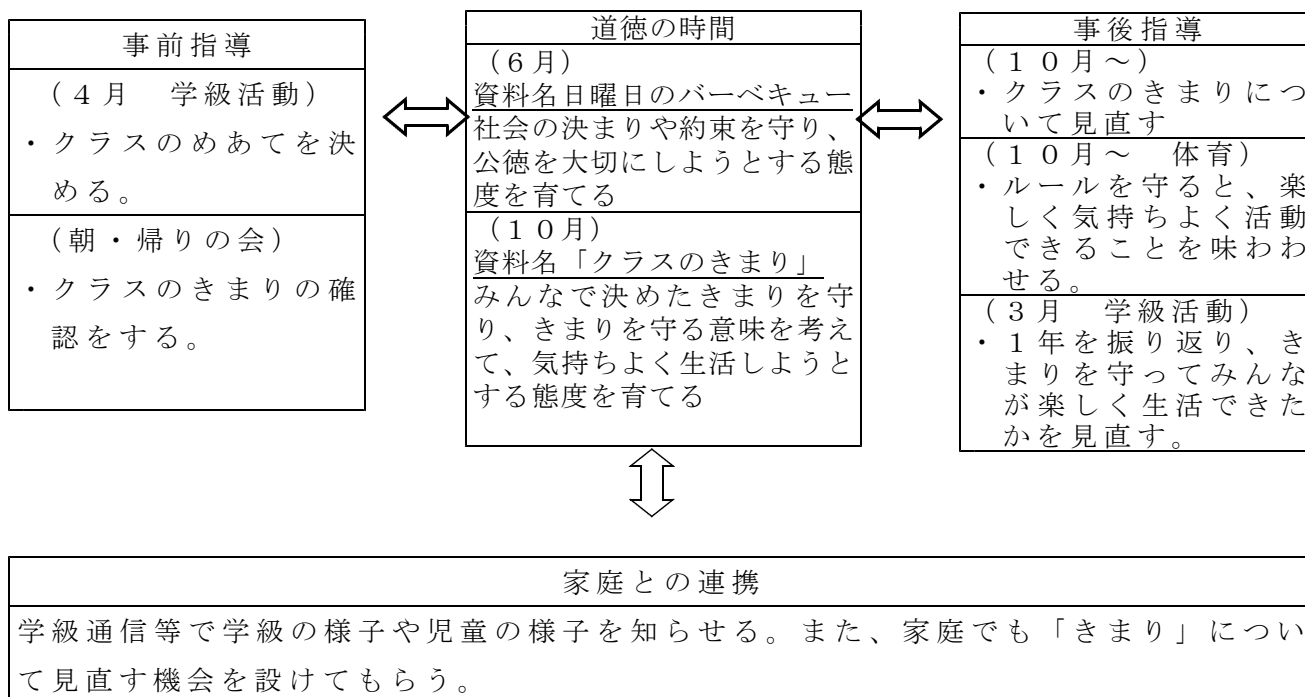
「上手に伝える・読み取る」を意識し、友達の意見をよく聞き、相手のことを意識して伝えられるように指導していく。また、書く活動を取り入れることで、相手に伝えるための準備をさせ、自分の考えをわかりやすく伝えさせたい。

〈「人とのかかわりを大切にする」視点から〉

本時では、「きまりやルールを守る」ことは、人とのかかわりの中で生きていくために必要であるということ、自分のとった行動によって嫌な思いをする人がいることに気づかせ、きまりやルールを守ることの意義について考えさせていきたい。また、自分の生活を振り返り、これからクラスや学校、友達同士、仲間同士の関係の中で自分がどういう行動をとっていけばいいのかについて考えられるようにしていきたい。

話し合い活動の中では、自分と似た意見、違う意見があることを意識させ、相手の思いを感じ取り、その上で自分の生活を振り返らせていきたい。

##### (2) 他の教育活動等との関連



1 本時の学習活動

(1) ねらい

みんなで決めたきまりを守り、きまりを守る意味を考えて、気持ちよく生活しようとする態度を育てる

(2) 展開

|     |      | 学習活動（主な発問）   | 予想される児童の反応   | ・指導上の留意点<br>☆評価（評価方法）   | 時間<br>資料 |
|-----|------|--|--|---|----------|
| 導入  | 気づく  | 1 仲良く遊んでいるビデオを見て、感想を言う。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>みんな仲良く遊んでいるね</li> <li>笑顔で遊んでいるよ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふだんの様子を見せることで、自分たちのことをふり返らせる。</li> <li>価値を方向付けられるように、このときの「きまり」についてふれる。</li> </ul>   | 3分       |
| 展開  | とらえる | <p>2 資料について条件・状況を知り、教師の範読を聞く。</p> <p>3 心に残ったところ、主人公の気持ちが変わるところを発表する。</p>                               | <p><b>登場人物</b><br/>ひろき（主人公）<br/>さちこ 美紀<br/>洋平 お母さん</p> <p><b>スタートの条件・状況</b><br/>休み時間に洋平たちとドッジボールを楽しむひろき。しかし、学級会でボールを使う順番を決めたばかりだったのに、きまりを守らなかった。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件・状況をしっかり押さえる</li> <li>ひろきの気持ちになりながら聞かせる</li> <li>範読を聞きながら、心に残ったところに線を引かせる。</li> <li>主人公の気持ちが変わるように間の取り方やキーワードに気をつけながら読む。</li> </ul> <p>・児童が心に残ったところを中心に話題を整理する。</p> <p>☆心に残った場面を見つけ、話し合う意欲を高めることができたか。<br/>(観察・発表)</p> | 10分      |
| 深める |      | <p>4 主人公の心の変化を中心に話し合う。</p> <p>(1) さちこが「学級会でボールの使い方を決めたじゃない」とボールを返すように言ってきたとき、ひろきはどんな気持ちで言い返したのだろう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>せっかく楽しく遊んでいたのになんだよ</li> <li>洋平の言う通りだよ！</li> <li>二人だけでボールを使うよりも、たくさんの人で使った方がいいにきまつてる</li> <li>たくさんの人で使うのに、週1回しか使えないなんておかしい</li> <li>きまりはわかってるけど、やっぱりおかしいよ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなことに夢中になり、きまりが分かっていても守れなかったひろきの気持ちに共感させる。</li> <li>クラスみんなで決めたきまりであることはわかっているが、自分の楽しいことをやりたいという気持ちが強く、洋平に同調してしまったひろきの気持ちに共感させる。</li> <li>やりたいことをやりたいという気持ちが誰にでもあることを</li> </ul>   | 22分      |

|        |                       |   |   |  |    |
|--------|-----------------------|---|---|--|----|
|        |                       | <p>(2) ひろきはどんなことを考えて眠れなかったのだろう。</p> <p>(3) 「ごめんよ」とさち子にあやまったひろきはどんな気持ちだったのだろう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりって何のためにあるのだろう</li> <li>・お母さんの言っていた言葉が胸からはなれないよ</li> <li>・でもドッジボールは楽しいからやっぱりやりたいよ</li> <li>・さち子に悪いことをしてしまったな</li> <li>・みんなのきまりはやっぱり守らないとだめだよな</li> <li>・きまりを守らないといやな思いをする人がいるんだよな</li> <li>・だめなことはだめと言えればよかった</li> <li>・不満があるなら学級会できちんと言えればよかった</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんね、ぼくが悪かったよ</li> <li>・きまりを守らなくてごめんね</li> <li>・これからはきちんときまりを守るよ</li> <li>・きまりを守らないといやな思いをする人がいるということをみんなにわかってもらいたい</li> </ul> | <p>おさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さち子の涙と母の言葉が耳から離れず、自分のとった行動に対して悶々と悩み続けるひろき的心情を感じ取らせる。</li> <li>・ワークシートにひろき的心情を書かせることで、意見を深めさせる。</li> <li>・少人数での話し合い活動を行い、意見の交流を図る。</li> <li>・板書を工夫し、ぐるぐると悩み続けるひろき的心情を理解しやすくする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一晩中悩み続け、次の日に謝ったことでさち子に笑顔が戻り、自分自身も嬉しくなったひろき的心情に気づかせる。</li> </ul> <p>☆主人公の気持ちになり、きまりを守ることの大切さや意義について自分の考えを深めることができたか。<br/>(観察・ワークシート・発表)</p> |    |
|        | 見<br>つ<br>め<br>る      | 5 今日学習を振り返り、きまりを守るについて考える。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからはきまりの意味を考えていこうと思う。</li> <li>・きまりの意味を考えてしっかり守っていこうと思う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を内省し、本時の中で学んだことやこれからの自分についてワークシートに書かせる。</li> </ul>   | 7分 |
| 終<br>末 | あ<br>た<br>た<br>め<br>る | 6 きまりを守るについて知っているコマールを見る。   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることの大切さや、意味を考えていこうとする意欲をもたせる。</li> </ul>  | 3分 |

## 6 評価の観点

- ☆主人公の気持ちになって、自分の考えを深めることができたか。(観察・ワークシート)
- ◇みんなで決めたきまりを守り、きまりを守る意味を考えて、気持ちよく生活しようとする意欲をもてたか。(発言・観察)

7 板書計画

